

出張報告書

令和元年8月10日

職氏名 市議会議員 坂本 晴美	用 務 第19回「社会フォーラム」
期 間 令和元年 8月7日から 令和元年 8月8日まで	出張先 ビジョンセンター東京有楽町 東京都中央区銀座1-6-2銀座Aビル3階

研修受講内容

8月7日（水）

講義1 13：00～14：30

「少子高齢化社会における訪問看護の役割—被災地の経験を踏まえて」

講師：全国ボランティアナースの会代表 管原 由美氏

講義2 14：40～16：10

「空き家対策—都市の事情、地方の事情」

講師：国土交通省住宅局住宅総合整備課長 深井 敦夫氏

講義3 16：20～17：50

「ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会」

講師：慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 唐澤 剛氏

8月8日（木）

講義4 10：00～11：30

「児童虐待—児童福祉法の改正で地方自治体がやるべきことは？」

講師：厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長 成松 英範氏

ランチブレイクセミナー 12：20～12：30

「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」

講義5 12：30～14：00

「認知症対策—その最新情報」

講師：厚生労働省老健局総務課認知症対策施策推進室長 岡野 智晃氏

聴いてトクする社会保障 14：10～14：55

「Web版『年金広報』のご紹介」「パワハラ防止法案」

「地域包括ケアシステムの10年を振り返る」

【所見】

講義1は、とても興味深い講義であった。

キャンナス (Cannus)・・・デキル (can) ことをデキル範囲で行うナース (Nursse) 看護師であるのに、私はこの言葉を知らなかった。地域に根差した活動をモットーに、立ち上げられたボランティアナースの会である。

キャンナスの活動は、広範囲で、患者さんの移送、障がい者の施設、宅老所、デイサロン、みんなの保健室、子ども食堂、結婚式の同行、誰でも参加できる旅行の企画など、柔軟に考えればこれだけのことが、看護師にはできるのかとその活動内容に驚かされた。潜在ナースも全国にいる。その方達に、すぐに現場復帰となるとハードルが高いがキャンナスのように出来ることからとなれば、復帰しやすいのではないだろうかと考えさせられた。災害時のキャンナスの活動も紹介された。そして、一人で開業看護師を育てる会も設立されている。東日本大震災の宮城県石巻市、福島県相馬市に限り、期間限定で訪問看護ステーションの一人開業を認めていた。なぜ、国家資格を持つ看護師が開業できないのか不思議でならないが、看護介護人材不足の中、やりたいという看護師には開業を認めて地域の担い手になって頂いてはどうかと思う。具体的な一人ナースのシュミレーションまで、出してあったので、ぜひ看護協会も参考にして実行できるように協力してほしいと思った。

講義2では、全国の空き家の実態が理解できた。山口県が全国でも9番目に空き家が多い県であり、緊急を要するの感じた。空き家対策総合支援事業、空き家の発生を抑制するための特例措置、空き家対策の担い手強化、連携モデル事業などたくさんの事業があり、それを実行に移している県の具体例が示されていた。私自身、しっかりと下関の現状を把握したうえで、どの事業が有効なのかをしっかりと考えていきたいと感じた。

講義3では、急速すぎる人口減少、特殊出生率の減少と今後の人口の推移を改めて、具体的に学ぶことができた。人手不足の時代の医療介護サービスで、①医療介護スタッフの総合力の評価、多様な職種の活用②AIやICTの活用推進、医療福祉機器、ロボットの活用③女性や高齢者等の就業促進・外国人材の活用、複合的な力を持つ人材育成の3つの重要性を話され、更に医療介護サービスの生産性向上は、地域経済の振興と地方創生に不可欠であると説明された。また地域包括ケアを縦軸は「医療介護連携」、横軸は「生活支援とまちづくり」と分けて考えながらも、顔の見える関係作りが大切である。さらに、孤立を防ぐためにも「多様性」×「交流」＝「ごちゃまぜ」、「ごちゃまぜ」による地域包括ケアづくりを進めることが大切である。現状は、地域包括ケアに大きな負担がかかっているが、私たちにできることは、地域包括ケアが少しでも機能しやすいように支援していく必要があるし、業務内容も精査し、人材も数だけでなく育成していく必要性があると思った。

講義4では、児童福祉法等の改正法についてや、目黒区の事案、野田市の事案等を踏まえた上で、児童虐待防止対策の抜本的強化について説明がなされた。児童福祉司などの大幅な増員が見込まれるが、大変だと思うが大切な子どもの命をこれ以上犠牲にならないように大人一人ひとりが関心を持つことが必要であり、更に虐待をしてしまう両親への教育も必要だと強く感じた。

講義5は、認知症の実態と今後の認知症施策推進大綱について説明された。その中でも特に「認知症バリアフリー」の取組み、若年性認知症コーディネーターの充実によ

り、企業やハローワーク等と連携した就労継続の支援を行う、介護保険法に基づく地域支援事業の活用等により、認知症の人の社会参加活動を促進するという内容に重点を置かれた。

今回初めて研修に参加させて頂き、多くの学びを得たが、この中で少しでも下関に活かしていけるとよいと思った。さらに今回の学びをさらに深めていきたいと思った。

第

19回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新政策動向をつかむ

セミナー開催のご案内

少子高齢化が進展する中、人生100年時代と言われるようになりましたが、高齢期を健康で20年以上にわたり過ごすことが可能な社会では、どんな政策が必要なのでしょう。不足する社会保障制度の担い手をどう確保するのか、社会保障給付費の際限のない伸びをどう抑えていくのかなどの喫緊の課題について、今回も地方議員の皆様と政策担当者や、専門家とで活発な意見交換の場を持ちませんか？

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講演予定講師・テーマ

唐澤 剛氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、
佐久大学客員教授、前内閣官房まち・ひと・しごと
創生本部地方創生総括官

「ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会」

石坂 聡氏 国土交通省住宅局住宅総合整備課長

「空き家対策—都市の事情、地方の事情」

宮腰 奏子氏 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課
虐待防止対策推進室長

「児童虐待—

児童福祉法の改正で地方自治体がやるべきことは？」

田中 規倫氏 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室長

「認知症対策—その最新情報」

菅原 由美氏 全国訪問ボランティアナースの会代表

「少子高齢化社会における訪問看護の役割—

被災地の経験をまじえて」

※第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」
セミナーの様子

日時

2019年8月7日(水)、8日(木)

参加費

7月31日(水)までに27,000円(消費税込み)をお振込みください。

会場

(貸会議室)ビジョンセンター東京有楽町 〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階

定員

100名

定員になり次第
締切

会場案内図

(貸会議室)
 ビジョンセンター東京有楽町
 〒104-0061
 東京都中央区銀座 1-6-2
 銀座 Aビル 3階

- ・JR「東京駅」八重洲南口徒歩 8 分(地下街 5 番出口徒歩 7 分)、京葉地下八重洲口徒歩 6 分(2 番出口)
- ・JR「有楽町駅」徒歩 5 分
- ・東京メトロ「銀座一丁目駅」徒歩 1 分

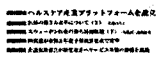


後援

社会保険旬報 61

社会保険旬報 — 医療に関わる全ての情報を提供 —

Web 版
 無料会員募集中です!



- ・医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- ・介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- ・社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

Web 医療と介護

<https://info.shaho.co.jp/iryou/>

SINCE 1973

年金時代

<https://info.shaho.co.jp/nenkin/>

見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は (株) 社会保険研究所までご連絡ください。
 TEL : 03-3252-7901 (代)

第19回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属議会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話番号
		FAX
		Eメールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 → FAX **03-3527-1028** または
 Email **tirare@abelia.ocn.ne.jp** でお申し込みください。

- お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合はFAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。
- 事務局からメールが届きましたら、右記の口座へ参加費をお振込みください。

【振込先】三菱UFJ銀行 神保町支店
 【口座番号】(普) [REDACTED]

お問い合わせ先 → TEL **03-3253-0570** ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

社保研ティラーレのホームページからもお申し込みいただけます。 <http://tirare.jp/>